

広報

あなたの暮らしのそばに みはら



特集

ふるさと三原への思い
体操五輪メダリスト・名誉市民 池田敬子



- 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために
～一人ひとりができる感染症予防～……………8
 - 令和2年度の予算……………10
 - イベント情報……………18
- ※掲載写真の都合上、今月号にはとじ穴を開けていません。ご了承ください。

広報みはらをスマートフォンで



無料アプリ「マイロ」であなたのスマートフォンに広報みはらが届きます。



ダウンロード用の2次元コード▲

4

令和2(2020)年
第181号



特集

ふるさと三原への思い

体操五輪メダリスト・名誉市民

池田敬子

1933(昭和8)年、佐木島生まれ、86歳(旧姓は田中)。三原高校で体操と出会い、日本体育大学に女子1期生として入学。1954(昭和29)年のローマ世界選手権平均台の金メダルをはじめ、五輪・世界選手権で合計8個のメダルを獲得。日本女子初の国際体操殿堂入りを果たす。日本体育大学副学長、日本体操協会副会長、全日本ジュニア体操クラブ連盟会長などを歴任し、現在はジャンピング体操スクール校長、日本体育大学名誉教授。2003(平成15)年に三原市名誉市民とされる。



写真提供 朝日新聞社

Keiko Ikeda

1964(昭和39)年東京オリンピック。渋谷区千駄ヶ谷の東京体育館に集まった観衆の注目が、平均台の上で舞う1人の選手に集まりました。力強く美しい演技を披露するのは日本女子体操のエース・池田敬子さん。着地が決まった瞬間に、割れんばかりの拍手と歓声が会場を包みました。

この大会で日本女子体操は団体3位に輝き、オリンピックで初めてのメダルを獲得。池田敬子さんははじめとする選手たちの活躍は多くの人を感動させ、勇気付けました。

三原高校で体操を始めて、わずか5年後のローマ世界選手権で、平均台金メダルを獲得するなど、数々の偉業を成し遂げてきた池田敬子さん。選手として、そして指導者として活躍する中で、ふるさと三原のことも大切にされてきました。

日本女子体操界の先駆者であり、三原市名誉市民である池田敬子さんに、これまでの体操人生や、ふるさと三原への思いなどをお聞きしました。

聞 広報戦略課

☎0848・67・6007



◀池田敬子さんが大切にしている言葉「力の美」。力を美しく表現するという意味が込められています(池田さん直筆)



ふるさと三原への思い

特集 体操五輪メダリスト・名誉市民 池田敬子



佐木島での遊びが 体操選手としての基礎に

私は佐木島で製塩業を営む田中家の長女として生まれました。好奇心が旺盛で、大きな松の木に登ったり、海で泳いだり、いろんな遊びに挑戦しました。島全体が私の遊び場だったのです。

好きな事をやらせてくれる家でした。私が高跳びをしたいと言くと、父が竹でバーとスタンドを作ってくれました。兄と一緒に遊んでいるうちに正面跳びを覚え、それが良かったのでしょ、その後、県の中学生の記録を更新することができました。

島から三原まで男の子3人と船をこいで渡ったこともありました。さすがに帰ってくる時はしんどかったですね。ただ、負けん気が強かった私は、弱音を吐く男の子を「海に落とすよ」と鼓舞しながら帰りました。

とにかく興味があることは何でもやりました。普通だったら「本当にこれをやっても良いかな」と考えるとと思いますが、そうじゃない、すぐにやるのです。島での遊びが、体操選手としての基礎を作ったのだと思います。だからこそ、今の子どもたちにも

いろいろな遊びを経験してもらいたいですね。

体操と出合った高校時代

中学卒業後、三原高校に進学した私はテニス部に入学しました。ところがボール拾いばかりで、なかなかテニスをさせてもらえません。やきもきする中、たまたま目に入ったのが校庭の隅にあった鉄棒。スカートを挟んで蹴上がり、大車輪をしていたら、体操部顧問の中島リキ子先生が飛んで来ました。鉄棒は校長室の前にあり、私の様子を見た校長先生が「女性があんなことをして」と中島先生に連絡を入れたのです。

私を見て驚いた先生は「器械体操をやってみないか」と言いました。私は体操について何も知らなかったで「ラジオ体操」のことかなと思いました。そのまま体育館に連れて行かれると、そこではつり輪や平行棒、平均台の練習が行われていたのです。見た瞬間に「これだ」と思いましたね。すぐに体操部に入部し、それからというもの体操に熱中しました。

平均台は当時、幅が8センチしかありませんでした。落ちな



▶大学時代、帰省中に恩師 中島リキ子さん(左)と食事を楽しむ 池田敬子さん(右)

いように恐る恐る競技する上級生たちを横目に、私は走ったり、跳んだり。船の縁を歩いて遊んでいた私にとって、平均台の上での競技は全く怖いものではありませんでした。周りの人から「サーカスをやっていたの」と聞かれたこともありましたが。

体操を始めて4カ月後、私は広島県大会で優勝。その年に神奈川県で行われた国体では跳馬で6位になりました。広島県初の快挙ということで、新聞にも載りました。「広島にすごい選手

がいる」といううわさは東京まで広まり、その後、オリンピック強化選手としてナショナルチームの一員となりました。

女子の1期生として 日体大に入学

高校を卒業後、日本体育大学に女子の1期生として入学しました。体操部員はそのうちたった2人。ですから練習は男子と一緒にでした。それが良かったのだと思います。一緒に練習をすることで、男子並みの技を身に付けることができました。

練習は体育館ではなく屋外で行うことがほとんどでした。雨が降った時に平均台がぬれないよう「むしろ」をかぶせるのが下級生の役目。万が一にもぬれてしまったら上級生に怒られるので、心配で夜も眠れませんでした。マットもないので、土を掘ってやわらかくしてクッション代わりにしたり、雪が降ったときには、鉄棒の下に雪を集めたりして練習しました。

その時はそれが当たり前だと思っていました。特に不自由だとは思いませんでした。毎日夜遅くまで練習に打ち込み、大学2年生の時、全日本選手権で

初優勝しました。

初めての世界選手権

全日本で初優勝した翌年、ローマで開催された世界選手権に出場しました。私にとっても日本女子体操界にとっても初の海外遠征でした。

女子は私を含めて2人だけ、監督やコーチもいません。ですからコーチや審判の会議にも自分たちが出席しなければいけません。会議で拳手を求められる場面が何度かあったのですが、言葉が全く分からず通訳もいなかった私たちは、アメリカをまねて手を挙げました。すると突然、怒られたのです。「次の大会の候補地に立候補する国」という問い掛けに、手を挙げてしまっていました。今となっては良い思い出ですね。

平均台で金メダルを獲得

ローマ大会の会場は屋外でした。普段から体育館の中での練習に慣れていたのでロープの選手たちは苦戦していましたが、いつも屋外で練習していた私には全く影響はありませんでした。女子の最終種目は得意の平均台。演技が始まると私は端から

端まで大きくジャンプし、ターンを決めました。他の選手たちは驚いていたと思います。当時平均台の上でジャンプする選手はいませんでしたからね。私がジャンプできたのは、練習中に男子と遊びで、どこまで跳べるかを競っていたからなのです。

この種目で私は金メダルを獲得しましたが、正直なところ「こんなもんか」という感じで、実感はあまり湧きませんでした。表彰台の上でも「早く帰国してみそ汁が飲みたいな」と考えていたくらいです。

このような調子でしたので帰国した時は驚きました。マスコミの取材がとにかくすごかったです。佐木島に帰った時には、島民の皆さんが総出で祝ってくれました。「こんなにもみんなが喜んでくれるものなんだ」と不思議に思いましたね。祖母から「みんながこんなに祝ってくれているのだから、しっかりもてなさない」と言われたのを覚えています。みんなに喜んでもらうのが好きな家だったのです。



▶ローマ世界選手権の帰国後、鷺浦中学校で開かれた歓迎会で美技を披露する池田敬子さん



ふるさと三原への思い

体操五輪メダリスト・名誉市民 池田敬子



▲東京五輪の平均台の上で高くジャンプする池田敬子さん
写真提供 共同通信社

戦後を実感した メルボルン五輪

初めてオリンピックに出場したのは、1956(昭和31)年のメルボルン大会。私にとって戦後を感じた大会でした。

開会式での入場行進の時、1人のおばあさんが私たちの前に飛び出てきて「ジャップ。私の子どもを返せ」と叫んだのです。後から聞くと息子が捕虜として日本に捕まり、殺されたということでした。

それとは反対の経験もしまし

た。地元の人が女子チームを家に招待してくれたのです。私たちはその人が一生懸命作ってくれたおにぎりをごちそうになりました。その人は元捕虜で、「日本人にとっても優しくしてもらった」と話してくれました。戦争や平和について改めて考えさせられましたね。

競技では、床で4位、団体で6位入賞という結果でした。初めてのオリンピックで入賞。日本女子体操は世界の中でも十分戦える」と手応えを感じた大会でもありました。

東京五輪への道

東京五輪の前年、次男を出産しました。妊娠が分かった時、体操協会の幹部からは「子どもを産むとは何事か」とひどく反対されました。子どもは天からの授かりものですよ、私はすぐく腹が立ちましたね。「出産して、メダルも取ればいいんですよ」と言い返しました。

出産1週間後には練習を再開。長男と次男を連れて合宿にも参加しました。周りの人からは「ママさん選手なんてすごいですね」とよく言われたけどそうではない、お母さんだから強いのです。大会まではとにかく練習に打ち込みましたね。五輪まで残り1カ月の時に、右ふくらはぎひふく筋を断裂するけがを負って



▲東京五輪で長男・啓彦さんと次男・孝彦さんを連れて男子体操の応援に来た池田敬子さん
写真提供 毎日新聞社

しまいました。少しの時間でも惜しい私は、1週間後には練習を再開しました。

東京五輪で悲願の メダルを獲得

女子体操の団体はソ連とチェコスロバキアの2強が抜けていました。日本は規定演技が終わった時点でドイツに次ぐ4位。メダルを獲得するには、次の自由演技でドイツを上回らなくてはなりません。

しかし私に焦りはありませんでした。絶対に勝ると信じていたからです。チームメイトに「自由演技を頑張ればいいんだから、普通にやろうよ普通に」と声を掛け、盛り上げました。自由演技の平均台が勝負の分かれ道となりました。チーム



▲体操スクールで生徒にアドバイスする池田敬子さん



▲白竜ドーム(大和町和木)で開催した健康体操教室で見本を示す池田敬子さん

企画展

広島県ゆかりの
アスリートたち
— 4年に1度の祭典 —

池田敬子さんを中心に、広島にゆかりがあるオリンピック選手についての資料などを展示します。

とき 7月11日(土)～8月2日(日)
9時～17時

ところ リージョンプラザ 展示ホール

関連行事 池田敬子さん講演会

とき 7月11日(土) 13時30分～15時
ところ リージョンプラザ 文化ホール
岡文化課(☎0848・64・9234)

さぎしまふるさと館

池田敬子さんの母校・向田小学校の閉校舎を活用した「さぎしまふるさと館」には、佐木島の文化や歴史、池田さんに関連する資料などが展示されています。



開館日 土・日曜日、祝日 9時～17時
ところ 旧向田小学校(鷺浦町向田野浦)
入館料 無料
岡さぎしまふるさと館(☎0848・87・5628)

メートが執念の演技を見せ、最終演技者だった私にバトンをつないでくれたのです。平均台前にして私は落ち着いていました。「自分が練習したことをきっちりやれば勝てる」という自信があったからです。大技の「片足前方宙返り」でびたりと着地を決めた瞬間、「メダルを獲れる」と確信しました。その時に応援団が持つ大きなしゃもじが見えたのです。故郷・広島を感じましたね。得点盤にはチーム最高点の9・70が表示されました。東京五輪で女子チームが銅メダル、男子は金メダル。男女共に表彰台に上がることができました。そのことが本当に良かったです。

ジュニア世代の育成に力を

ジュニア世代を育成しないといけないと感じたのは、1966(昭和41)年のドルトムント世界選手権の時でした。この大会で個人総合3位だった私は、表彰式で2位のナタリア・クチンスカヤ(ソ連)と握手をしました。私は当時32歳、彼女は17歳でした。あどけない柔らかな手を握った時に、「日本もジュニアを育成しなければ」という思いが芽生えましたね。それから小さいながらも体操教室を立ち上げました。当時はジュニア育成について周りから理解されませんでした。私は奔走し、後に五輪に出場した岡崎聡子などを輩出することができました。

きました。

私はいろんな人に応援してもらいました。その人たちへの恩返し、自分の経験を後輩たちに伝えること、そして指導者を育てていくことだと思っています。現在も広島や東京でジャンピング体操スクールの経営し、ジュニアをはじめたくさんの世代の人たちに体操を教えています。

ふるさと三原への思い

現在私は東京に住んでいます。三原にはたびたび帰ってきています。市の依頼を受けて健康体操教室の講師なども務めました。受講した人が元気になって帰ってくるのはうれしいですね。お年寄りが元気になると、

子どもたちにも良い影響を与えたいと思います。

三原に帰ってきたときの楽しみの一つが、なじみの魚屋さんで食べるアナゴ。私を見ると「敬子ちゃんが来た」と七輪で焼いて、出してくれるのです。匂いに誘われて集まった人たちに「あなたたちも食べなさい」と声を掛けて、にぎやかに過ごすのです。私にとって三原は本当に楽しい場所ですね。だからこそもっと元気なまちにしたいという思いを強く持っています。

以前、三原を宣伝したいという思いから、県内の体操大会でやっさ踊りを踊ってもらったことがありました。しかし会場には三原のこともやっさのこと

知らない人がいたので。とても寂しい気持ちになりました。

やっさをはじめ、この町にはたくさんのお金があります。自分たちだけのものにするのではなく、外にPRしていくことが大切だと思います。市はもちろん市民の皆さんと一緒に意見を出し合い、よそにはない「三原ならでは」を打ち出すことで、人が集まる元気な町になるのではないのでしょうか。三原の元気のために私もできる限りのことをしたいと思っています。

参考文献『人生、逆立ち・宙返り』池田敬子/著
協力 ジャンピング体操スクール、さぎしまふるさと館

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

一人ひとりができる感染症予防

県内でも新型コロナウイルスの感染が確認されています。感染拡大を防止するために、一人ひとりが予防を心掛けてみましょう。(掲載情報は3月22日現在)

保健福祉課
☎0848・67・6053

新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症はウイルス性の風邪の一種です。発熱や喉の痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える人が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12・5日(多くは5日から6日)といわれています。重症化すると肺炎になり、死亡例も確認されていますので注意が必要です。特に高齢者や基礎疾患のある人は重症化しやすい可能性があります。

2種類の感染経路

感染経路には、くしゃみや咳、つばなどに混じって放出されたウイルスを吸い込むことで感染する「飛沫感染」と、ドアノブや手すりなどウイルスが付いた物に触れ、その手で口や鼻などを触ることで感染する「接触感染」があると考えられています。

予防するには

風邪や季節性インフルエンザの予防と同様に、手洗いや咳エチケットなどを徹底しましょう。また可能な場合はマスクを着用しましょう。特に高齢者や基礎疾患のある人は、できるだけ人ごみを避けるなど感染予防に努めましょう。

正しい手洗いの方法



- 流水でよく手をぬらした後、せっけんをつけて手のひらをよくこすります
- 手の甲を伸ばすようにこすります
- 指先と爪の間を念入りにこすります
- 指の間を洗います
- 親指と手のひらをねじり洗います
- 手首も忘れずに洗います

手洗いの前に ・爪を短く切っておきましょう
・時計や指輪を外しておきましょう

手洗いの後は ・せっけんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルなどでよく拭き取って乾かしましょう

咳エチケット



- マスクがある場合は着用しましょう(口と鼻を覆う)
- マスクがないときは、ティッシュやハンカチで口と鼻を覆いましょう
- とっさのときは、袖で口と鼻を覆いましょう
- × 何もせずに咳やくしゃみをしたり、手で押さえたりすると、ウイルスが飛び散るのでやめましょう

部屋の換気

1～2時間に一度、5～10分程度窓を大きく開けて室内の空気を入れ替えましょう。

◎こんな症状が出たときは◎

次のような症状が出たときは、県東部保健所に相談してください。

- ◎ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く(解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様です)
- ◎ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある



◎ 次のような人は重症化しやすいため、上記の状態が2日程度続く場合には県東部保健所に相談してください。

- ◎ 高齢者
- ◎ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPDなど)の基礎疾患がある人や透析を受けている人
- ◎ 免疫抑制剤や抗がん剤などを使っている人
- ◎ 妊婦



相談窓口 県東部保健所

【祝日を除く月～金曜日8時30分～17時】☎0848・25・2011
【上記以外の時間帯】☎082・513・2567
※電話での相談が難しい場合は県障害者支援課☎082・223・3611へ。

新型コロナウイルス Q&A

Q 感染の疑いのある家族を看病する場合、気を付けることはありますか。

A 部屋を個室にし、本人は極力部屋から出ないようにしましょう。看病はできるだけ限られた人が行い、「マスクを着ける」「小まめに手を洗う」「定期的に換気する」「手で触れる共有部分を消毒する」など感染予防に努めましょう。汚れたリネンや衣類を洗濯するときは、手袋とマスクを着け、家庭用洗剤で洗濯して完全に乾かしましょう。鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、密閉して捨てましょう。

Q 部屋の清掃消毒をするにはどうしたらよいですか。

A 物に付着したウイルスはしばらく生存します。ドアの取っ手やノブなどの共有部分は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。

Q 濃厚接触とはどのようなことをいいますか。

A 必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離(2メートル程度)で一定時間以上接触があった場合は、濃厚接触したと考えられます。

(参考)県公式ホームページ 新型コロナウイルス感染症のよくあるご質問

市では新型コロナウイルス感染症の最新情報を見ることができます。



市の2次元コード

令和2年度 予算

令和2年度の一般会計当初予算額は527億7,600万円です。昨年度と比べて25億7,900万円(5.1%)増加し、過去最大規模となりました。災害復旧・復興に全力で取り組むとともに、「人口9万人の維持」「市民満足度の向上」を目標に掲げ、市民が「住み続けたい」と考える、そして未来を支える子どもたちが夢を抱き三原に帰りたい、三原で活躍したいと思うまちづくりを進めていきます。

と思うまちをめざして

令和2年度 一般会計当初予算

527億7,600万円

(前年度比プラス5.1%、

25億7,900万円増)



三原市長 天満祥典

最優先課題として取り組む災害復旧・復興についての予算を、昨年度から26億円増額し、約63億円としました。道路や河川、農地・農業用施設などの復旧を着実に進めます。

また、今年度は長期総合計画の後期基本計画や、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略、定住自立圏共生ビジョンのスタートの年でもあります。これらの計画などでは、将来のまちづくりに必要な対策を整理し、市の強みや特長を生かしたナンバーワン・オンリーワンづくりを意識して人口減少対策に取り組むこととしていきます。復旧・復興や地域活性化を推進するとともに、将来に向けた投資を行うことで、「元氣な三原」の実現をめざします。

問財政課

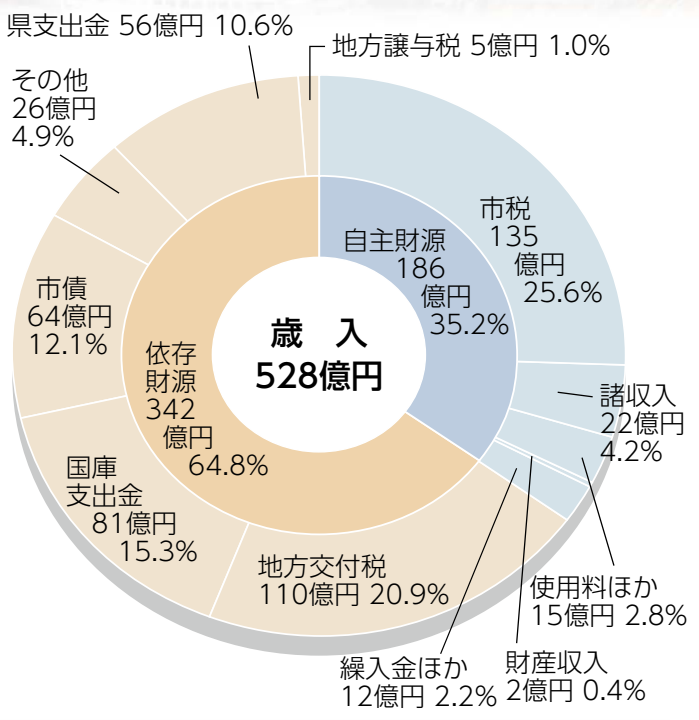
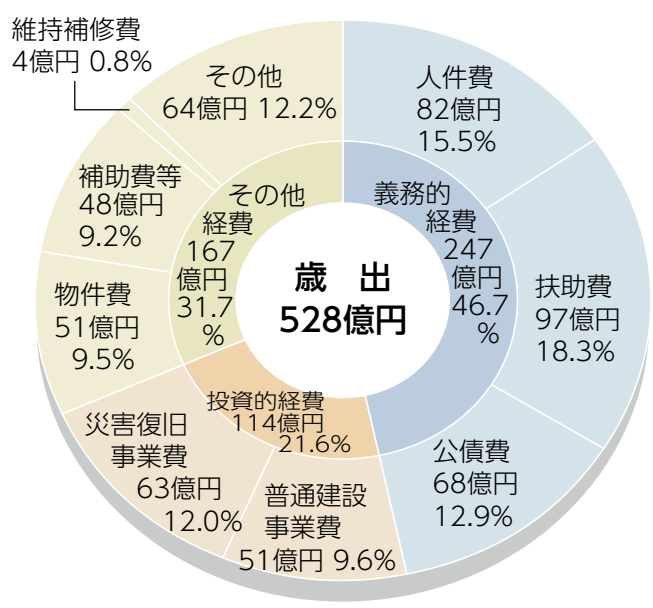
☎0848・67・6028

未来を支える子どもたちが夢を抱き 「三原に帰りたい、三原で活躍したい」



一般会計(歳出)

一般会計(歳入)



※その他は、積立金、出資金・貸付金、繰出金です。

※その他は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車税環境性割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金です。

令和2年度重点施策と予算

今年度を実施する重点施策と予算、主な内容について、長期総合計画で掲げる基本目標に基づいてお知らせします。

安心して快適・安全に住み続けられるまち

〔防災〕

●災害復旧事業

63億3,820万円

平成30年7月豪雨で被災した道路や河川、農地・農林業用施設などを復旧



▲復旧工事が進む市道本郷町日山地用倉線



▲被災直後の様子

●コミュニティFM送信装置整備事業

780万円

災害などで有線放送網が断線した場合でもコミュニティFM放送の電波を届けることができるよう、移動式のFM送信装置を整備

●緊急時体制整備事業

786万円

災害対策本部と各部署で被災状況を可視化・共有化できる地図情報システムを導入

●自主避難所開設支援事業

25万円

自主避難所を開設・運営した自主防災組織

に対し、1日当たり5千円を支給

●ブロック塀等安全対策補助事業

90万円

避難路に面する危険なブロック塀などの除却や建て替え費用の一部を補助

〔生活の安全安心〕

●消防ポンプ自動車購入事業

3,800万円

大和出張所の消防ポンプ自動車を更新



▲平成8年に就役した大和出張所の消防ポンプ自動車を更新

〔環境〕

●ごみの新分別体制周知啓発事業

800万円

不燃物処理工場の更新に合わせて、ごみの分別方法が変わるため、広報活動などを実施

〔生活基盤〕

●防災公園整備事業

300万円

現在造成中の本郷産業団地内に、防災機能を備えた公園を整備するため、計画を策定



▲造成が進む本郷産業団地(写真左上が防災公園の整備予定地)

●空き家活用モデル支援補助事業

400万円

空き家活用のモデルとなる事業を公募し、優秀な事業に改修費などの一部を補助

●市宮沖住宅等整備事業

100万円

宮沖・宮浦・西迫上住宅を統合して建て替えるための基本計画を策定

新しい三原をつくる協働のまち

多様な産業と多彩な交流による活力あるまち

〔人権・男女共同参画〕

●大和人権文化センター耐震化事業

.....150万円

昭和55年に建築した大和人権文化センターの耐震診断を実施

〔元気な地域〕

●地域経営推進事業.....570万円

各地区の将来像や今後の取り組みを定めた「地域ビジョン」を策定した住民組織に活動費を交付



▲昨年度策定された高坂町・鷺浦町・和木地域の地域ビジョン(概要版)

●中山間地域コミュニティビジネス支援事業.....800万円

地域資源を活用した特産品づくりなど、中山間地域の住民組織が地域の活力を

引き出すためにビジネスを開始する場合に経費の一部を補助

●地域おこし協力隊活動支援事業

.....4,013万円

地域の活性化のため、住民組織などと連携して活動する地域おこし協力隊員9人を配置。任期後の定住などを目的に隊員4人の起業を支援



▲鷺浦町で活動する地域おこし協力隊員の松岡さくらさん(左)(写真は小佐木島でのイベントの様子)

●関係人口創出事業.....828万円

市外に住みながらも、継続的に市内の地域と多様な形で関わる人々(関係人口)を増やすため、地方に関心を持つ若者を対象に、市内での体験学習ツアーを市民と協働して開催

〔商工業・サービス業〕

●産業用地適地選定事業

.....300万円

工業用水が利用できる沿岸部を中心に新たな産業団地の候補地を調査

●企業情報パンフレット作成事業

.....150万円

市内企業を紹介する情報誌を作成し、就職活動を行う学生などを対象に情報を発信することで、市内企業への就職を促進

〔農林水産業〕

●6次産業化推進事業.....500万円

農産物やその加工品の販路を拡大するため、首都圏や海外での販売イベントに市内事業者などが出展する場合の費用の一部を補助

〔観光・交流〕

●観光DMC支援事業

.....1億3,792万円

景観や食など地元の観光資源を使った商品を開発・販売することを目的に設立された観光まちづくり会社「株式会社空道・港」の自立経営に向けた支援を実施し、地域が観光で稼げる取り組みを推進

●観光案内看板等整備事業・2,200万円

JR三原駅周辺や三原内港などの中心市街地の周遊性を高めるため、観光案内

内看板や電子看板(デジタルサイネージ)、多言語誘導サインを整備

●国際交流員活用事業.....511万円

(一財)自治体国際化協会が行う外国青年招致事業を活用し、市の国際化をサポートする国際交流員を任用。国際交流事業や多文化共生事業を推進

〔交流・連携基盤〕

●街路樹維持管理事業.....1,000万円

市内43路線の街路樹の維持管理や更新についての計画を策定

●魅力あるまちなみづくり事業

.....160万円

本町西国街道地区のまちなみづくりについて、昨年度のワークショップでまとめた提案書を基に、ガイドラインを策定



▲ワークショップで作成した本町通りの将来イメージのイラスト

健康

やかに暮らせる人に優しいまち

【子ども・子育て】

●子ども居場所づくり事業

2億7,487万円

新たに2カ所の放課後児童クラブを開設。全てのクラブで小学6年生までを受け入れ

●児童虐待防止事業

1,002万円

子ども家庭支援員や虐待対応専門員を配置する「子ども家庭総合支援拠点」を設置

●児童館運営事業

2,852万円

児童館をペアシティ三原西館2階に移転し開設。中高生の利用を促進するため無料Wi-Fiや学習室・スポーツ室などを整備



▲さまざまなイベントを開催し子どもたちが集まる児童館

●不妊検査費等補助事業

928万円

不妊に加え不育症の検査や治療にかかる費用を30万円まで補助

【健康・医療】

●風しん抗体検査・予防接種事業

2,308万円

抗体検査を受けていない、または抗体価が低い人への予防接種を実施。妊娠を希望する抗体がない人とその家族に予防接種費の全額を補助

【福祉・介護】

●認知症スクリーニングアプリ導入事業

10万円

インターネットで簡単に認知症の自己チェックができるアプリを導入

●GPS機器購入補助事業

20万円

認知症の高齢者などを介護している家族を対象に、所在確認用のGPS機器購入費の一部を補助

●生活困窮世帯学習支援事業

268万円

県立広島大学三原キャンパスの学生ボランティアに加え、今年度から教職経験者を支援員として配置し、ひとり親世帯などの子どもの学習を支援。本郷地域では委託事業者による学習支援を開始

地域

地域の文化と多様な人材を育むまち

【教育】

●学習分析事業

1,192万円

児童生徒の基本的な学習内容の定着度と学習意欲などを把握することで、教員の指導方法を改善し、学力向上を推進

●学校教育情報環境整備事業

12億850万円

全小中学校の校内LAN高速大容量化工事を実施し、学習者用情報端末約2,600台を整備

※昨年度の2月補正予算で計上し、今年度



▲全小中学校のICT環境を整備(写真はプログラミング授業の様子)

に実施。

【生涯学習、文化・スポーツ】

●文化芸術交流促進事業

300万円

みはら文化芸術財団の設立を記念し、市民参加型の文化イベントを芸術文化センターポポロのホールで開催

●リージョンプラザ長寿命化計画策定事業

700万円

昭和59年に建築した三原リージョンプラザの長寿命化計画を策定

●企画展覧会開催事業

423万円

「広島県ゆかりのアスリートたち―4年に1度の祭典―」と題し、県ゆかりのオリンピック選手を紹介する企画展や名誉市民池田敬子さんの講演会を開催

●東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業

571万円

東京オリンピック聖火リレーや東京パラリンピック聖火採火式を開催

計画の実現に向けて

【透明性の高い行政運営と情報発信】

●シティプロモーション推進事業

1,403万円

戦略的な情報発信に向けた外部アドバイザーを設置。三原市ならではの魅力や強み

をPRするためガイドブックを作成

【地域分権型社会に対応した行政経営】

●総合戦略調査事業

150万円

若年層の市外転出の要因などについて調査・分析し、今後の人口減少対策に反映



市役所の組織の一部を変更

今月1日から、市役所の組織の一部が、次のとおり変わります。

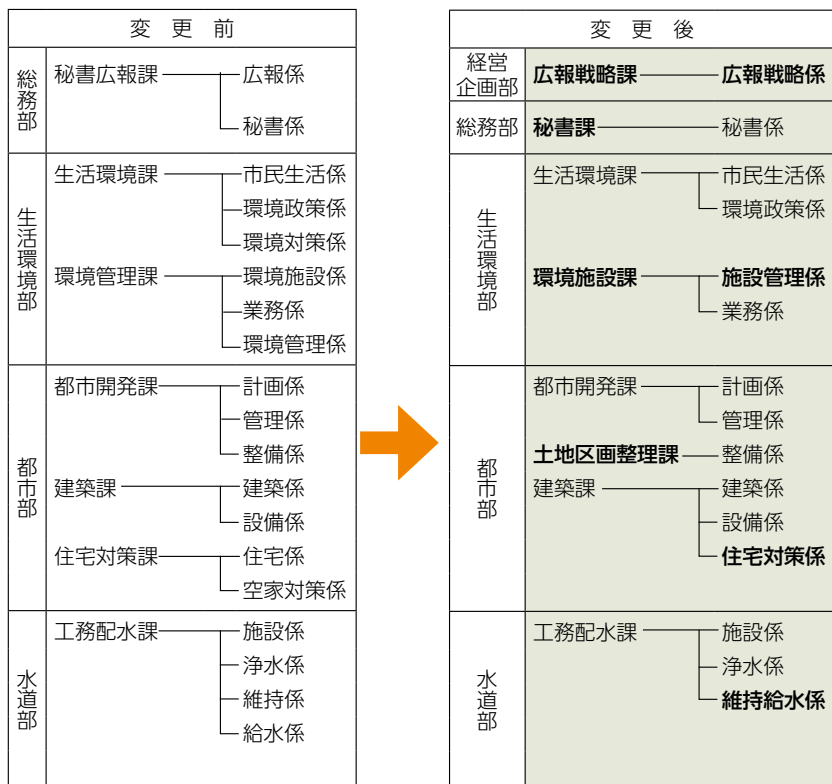
・経営企画部に広報業務やふるさと納税を所管する広報戦略課を新設します。

・環境管理課は事務所(宮沖五丁目)を清掃工場内(八坂町)に移転し、名称を環境施設課に改めます。業務の一部を生活環境課が所管します。

※業務の分担など詳しくは広報みはら 令和2年3月号か市HPで確認してください。

・土地区画整理業務を所管する土地区画整理課を新設します。

・住宅対策課の空き家活用・空き家バンク業務を地域企画課に移管するとともに、住宅対策課を建築課に統合して住宅対策係とします。



※太字は新設です。

☎職員課 0848・67・6025

戦没者などの遺族に特別弔慰金を支給します

申請期限 令和5年3月31日(金)まで

申請場所 社会福祉課、各支所

☑戦没者などの死亡当時の遺族で、令和2年4月1日現在、公務扶助料や遺族年金などの受給者がいない場合に、次の順番による先順位の遺族1人

- 1 弔慰金受給権者(戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人)
- 2 戦没者などの子
- 3 戦没者などの①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹(戦没者などの死亡時における生計関係の有無や婚姻による改姓などの要件により、順位が入れ替わります)
- 4 1から3以外の戦没者などの3親等内の親族(戦没者などの死亡時まで、引き続き1年以上の生計関係を有していた人に限ります)

支給額 額面25万円(5年償還の記名国債)

☎社会福祉課 0848・67・6058

市職員(任期付職員)を募集します

任用期間 3年未満

試験日・場所 4月26日(日)・市役所本庁3階

申込期限 4月15日(水)まで

試験要項・申込書の配布場所 職員課、各支所、市HP

※郵便で請求する場合は宛先を記入し、120円切手を貼った返信用封筒(33cm×24cm以上)を同封してください。

☑三原市試験委員会(職員課内〒723-8601港町三丁目5番1号)

※郵送の場合、締切日必着です。

| 職種(試験区分) | 採用予定数 | 受験資格(年齢不問) | 採用予定日 |
|----------|-------|-----------------------------|-------|
| 任期付養護教諭職 | 1人 | 養護教諭、保健師、看護師の資格のいずれかを持っている人 | 5月以降 |

☎職員課 0848・67・6025



スマートフォンの決済アプリで市税などを納付できるようになりました **手数料無料**

スマートフォンの決済アプリで市税などを納付できるようになりました。アプリを使用して、納付書に印字されているバーコードを読み取ることで、金

融機関などの窓口に行かなくても市税などを納付することができます。

固税制収納課 ☎0848・67・6034

対象の税など

- ・市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税(種別割)、国民健康保険税(普通徴収)
- ・介護保険料(普通徴収)
- ・後期高齢者医療保険料(普通徴収)
- ・保育料、保育所給食費
- ・学校給食費
- ・住宅使用料
- ・道路占用料、堤防占用料、溝渠占用料
- ・水道料金
- ・下水道使用料
- ・久井工業団地用水供給施設使用料、久井工業団地下水処理施設使用料

利用手順

1 スマートフォンに決済アプリをダウンロード

※通信料は利用者負担です。

2 名前や生年月日、支払方法などを登録

※決済アプリごとに支払方法などは異なります。

3 納付書に印字されているコンビニ収納用のバーコードを読み取る

※バーコードが印字されていない納付書や、1枚当たりの金額が30万円を超える納付書(水道料金や下水道使用料をLINE Pay 請求書支払いで決済する場合、5万円以上の納付書)は使用できません。

4 暗証番号を入力するなどして決済する

※領収証書は発行されません。

※軽自動車税納税証明書(継続検査用)が必要な場合は、市民課(市役所本庁1階)または各支所で手続きしてください(納付の確認には1週間程度かかります。証明書が急ぎで必要な場合は、金融機関などの窓口で納付してください)。

| PayPay | PayB | LINE Pay 請求書支払い |
|--------|------|-----------------|
| | | |

大人の発達相談窓口を開設

「人とのコミュニケーションがうまくいかない」「1度に多くの説明や指示を受けると混乱してしまう」など、生活の中で生きづらさを感じることはありませんか。皆さんからの相談に保健師や臨床心理士が応じます。気軽に相談してください。

時 第1木曜日・第3水曜日10時～15時

所 市役所本庁2階

対 15～29歳の人と家族

定 各2人(要申し込み)

申 保健福祉課(☎0848・67・6359)

計田教育長が就任

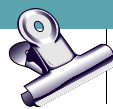
先月17日、市議会から任命の同意を得て教育長に計田春樹さんが決定し、今月1日に就任しました。任期は令和5年3月31日までの3年です。

教育長 はかたはるき 計田春樹さん



昭和53年賀茂郡福富町立久芳小学校教諭となり、三原市立西小学校校長、船木小学校校長などを経て、平成29年5月から令和2年3月まで三原市教育委員会委員。大和町在住。65歳。

固 教育振興課 ☎0848・67・6151



少年少女海外研修の参加者を募集

訪問地 シンガポール

時 8月5日(水)～8月11日(火)(予定)

内 現地の中学校との交流、ホームステイなど

対 市内在住の中学2年生

※事前研修(7月までに10回程度)の受講とホームステイ(11月に2泊3日)の受け入れが必要です。

定 14人(予定)

※同一校からは原則3人まで。

料 10万円程度

選考 4月26日(日)に選考会(作文・面接など)を実施

申 4月22日(水)(必着)までに、持参または郵送で申込書(提出先、市HPに用意)を少年少女海外研修交流実行委員会(生涯学習課内〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6147)へ

※新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、研修の中止や内容の変更をする場合があります。



▲昨年の研修の様子(シンガポール・ベティ中学校前で撮影)

10月に供用開始予定の新斎場の愛称を募集します

市は現在、新しい斎場(高坂町許山)を建設中です。10月の供用開始に向けて新斎場の愛称を募集します。

テーマ 豊かな自然を身近に感じながら生活を営んできた三原市民の最期の儀式の場としてふさわしく、ふるさと感じられるもの

作品条件 次の①②を満たすこと

①本人が考案した未発表のもの

②ひらがな・カタカナ・漢字・アルファベットで表記できるもの

※応募点数は1人1点まで。

※詳しくは募集要項で確認してください。

賞 最優秀賞(1点)3万円、優秀賞(3点)5千円

応募方法 5月29日(金)(消印有効)までに、郵送、ファクス、Eメールで応募用紙(募集要項とともに提出先、市HPなどに用意)を生活環境課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6178 FAX 0848・64・4103 E seikatsukankyo@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲完成イメージ図

みはら文化芸術財団 設立記念演奏会「ポポロで第九を歌おう」の合唱団員を募集

みはら文化芸術財団の設立を記念し、市民参加型の演奏会を開催します。合唱団に参加して、ベートーベンの交響曲第9番を歌いませんか。

時 12月6日(日)17時～

※5月から12月まで月2回程度、練習を行います。

所 芸術文化センター ポポロ

コース ①はじめての第九(初心者向け)②第九を歌おう(経験者向け)

定 150人程度(要申し込み)

料 2,000円(楽譜代を含む)

申 4月30日(木)までに往復はがきに記入例のとおり記入して、ポポロへ

※詳しくは芸術文化センター ポポロのHPで確認してください。

芸芸術文化センター ポポロ ☎0848・81・0886
文化課 ☎0848・64・9234

記入例

| 往信(表) | 返信(裏) | 返信(表) | 往信(裏) |
|--|---------------------|-------------------------------|--|
| 72300511 63 往信 ポポロで第九を歌おう 三原市芸術文化センター ポポロ 三原市宮浦一丁目1番1号 係 | ※ここには、何も記入しないでください。 | 63 返信 応募者の名前様 応募者の住所 | ①名前②性別 ③年齢 ④希望コース ⑤合唱歴の有無 ⑥希望パート ⑦住所 ⑧電話番号 ⑨保護者の名前 (18歳未満のみ) |

※ の部分を記入してください。

みはら文化芸術財団とは

文化芸術を通じた地域社会の発展をめざすため、昨年設立した財団。今月から芸術文化センター ポポロの指定管理者を務める。

新型コロナウイルス感染症の影響で、中止・延期または時間などが変更になる場合があります。事前に主催者に確認してください。市HPでも中止・延期などの情報を掲載しています。



▲市HPの2次元コード

| イベント名 | とき | ところ | 内容 | 申し込み・問い合わせ先 |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------------|--|--|
| 三原だるまを作ろう | 月・木曜日13時～16時、土曜日10時～12時 | うきしろロビー | ☑土台作り、面相描き ☎600円(要申し込み) | 三原観光協会 (☎0848・67・5877) |
| みはらし環境会議 ざわわプロジェクト | 4月5日(日)10時～12時 | 中央公民館 | ☑サトウキビの苗の配布、栽培や活用についての意見交換 ☎25人(要申し込み) 申込期限 4月4日(土)まで | かんきょう会議浮城 森塚さん (☎090・4652・4038) |
| 沼田西のエヒメアヤメ自生南限地帯の一般公開 | 4月11日(土)～26日(日)9時～17時 | 沼田西町松江 | ☑国の天然記念物に指定されている沼田西のエヒメアヤメ自生南限地帯の公開(申し込み不要) ※臨時駐車場が有ります。 | 文化課 (☎0848・64・9234) |
| 第8回さわやか健康ウォーキング～エヒメアヤメを見に行こう!～ | 4月11日(土)8時～ | 集合:やまみ三原運動公園 | ☑ウォーキング(約8km) ☎50人(要申し込み) ※小・中学生は保護者同伴。 | やまみ三原運動公園 (☎0848・66・3900) |
| ポタン祭り | 4月11日(土)～12日(日)9時～17時 | 高坂自然休養村(高坂町許山) | ☑ポタン、シャクヤクなどの展示・販売、手打ちそば(1日限定30食)の販売など 入場料 450円、小学生150円、小学生未満無料 | 高坂自然休養村 (☎0848・66・2683) 農林水産課 (☎0848・67・6077) |
| 城下町てくてくウォーク | 4月11日(土)・25日(土)10時30分～12時 | 集合:うきしろロビー | ☑三原城天主台跡や船入櫓など希望する場所を案内(申し込み不要) | 三原観光協会 (☎0848・67・5877) |
| 市民ギャラリーの催し 三原やっさ踊り振興協議会公開練習 | 4月14日(火)18時30分～ | 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階) | ☑三原やっさ踊り振興協議会による踊りの公開練習 | 文化課 (☎0848・64・9234) |
| 精神保健福祉相談 | 4月15日(水)13時30分～15時30分 | 県東部保健所(尾道市古浜) | ☑精神科医師による相談(要申し込み) 申込期限 4月10日(金)まで | 県東部保健所 (☎0848・25・4640) |
| 市民ギャラリーの催し 直美の部屋コンサート | 4月17日(金)14時～ | 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階) | ☑デュオ・セピア 木村直子(チェロ)・吉岡 由美子(ピアノ) | 文化課 (☎0848・64・9234) |
| 第2回ビーチウォークinすなみ | 4月19日(日)9時30分～ | 集合:すなみ海浜公園 | コース ①1.1km②4.6km ☎100人(要申し込み) ※小・中学生は保護者同伴。 | 保健福祉課 (☎0848・67・6053) |
| 母子保健推進員さんと遊ぼうベビーサロン | 4月23日(木)10時30分～11時40分 | サン・シープラザ3階 | ☑ふれあい遊びなど ☑生後6カ月までの子と保護者(申し込み不要) ☑バスタオル | 保健福祉課 (☎0848・67・6061) |
| JPQR統一コード説明会 | 4月24日(金)10時～12時 | リージョンプラザ | ☑複数社のキャッシュレス決済のQRコードを、1つにまとめることができる「JPQR」の説明 ☑市内事業者 ☎300人(要申し込み) | 商工振興課 (☎0848・67・6072) |
| 離乳食教室 | 4月24日(金)①10時～10時40分②11時～11時40分 | 本郷保健福祉センター | ☑離乳食の進め方、試食など ☑①4～6カ月児の保護者②7～9カ月児の保護者 ☎各20人(要申し込み) ☑母子健康手帳 申込期限 4月17日(金)まで | 本郷保健福祉センター (☎0848・86・3609) |
| こころの健康相談・ひきこもり相談 | 4月24日(金)13時30分～15時30分 | サン・シープラザ3階 | ☑精神保健福祉士による相談 ☎2人(要申し込み) 申込期限 4月22日(水)まで | 保健福祉課 (☎0848・67・6061) |
| リージョンプラザ映画のつどい「カツベン!」 | 4月25日(土)①10時30分～②13時30分～ | リージョンプラザ | ☎1,800(1,500)円、大学生1,500(1,300)円、3歳～高校生1,000(800)円、60歳以上1,200円 ※()内は割引券利用の料金。 ※障害者手帳を提示した人は1,000円。 割引券設置場所 リージョンプラザ | リージョンプラザ (☎0848・64・7555) |
| 第2回新西野梅林ウォーキング大会 | 4月26日(日)9時～ | 集合:宮浦公園 | ☑ウォーキング(5.5km) ☎70人(要申し込み) 申込期限 4月20日(月)まで | 保健福祉課 (☎0848・67・6053) |
| 須波コミセン文化祭 | 4月26日(日)10時～15時 | 須波コミュニティセンター | ☑作品の展示、舞台発表など | 須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512) |
| 沼田川クリーンキャンペーン | 4月26日(日)8時30分～10時30分 | 沼田川、御調川、白電湖周辺 | ☑河川敷などの清掃(申し込み不要) | 三原法人会 (☎0848・62・0524) |
| 市民公開講座 がん診療・治療の最前線 | 5月9日(土)15時～17時 | リージョンプラザ | 講師 広島大学教授 岡田守人さん ☎350人(申し込み不要) | 保健福祉課 (☎0848・67・6053) |
| 第4回森林浴健康ウォーキング | 5月16日(土)9時～12時 | 中央森林公園 | コース ①2.5km②5km ☎50人(要申し込み) 申込期限 5月8日(金)まで | 本郷保健福祉センター (☎0848・86・3609) |
| ようこそ、片山杜秀ポポロ新館長! 歓迎コンサート | 5月24日(日)15時～ | 芸術文化センターポポロ | ☑高橋アキ(ピアノ)、萩原麻未(ピアノ)、山崎伸子(チェロ)、中野美奈子(司会)ほか ☎1,000円 ※小学生から入場できます。 販売場所 ポポロ、ポポロオンラインほか | 芸術文化センターポポロ (☎0848・81・0886) |

| イベント名 | と き | と ころ | 内 容 | 申し込み・問い合わせ先 |
|----------------------------|--------------|-----------------------|---|---------------------------------|
| サンフレッチェ広島を応援しよう | 5月31日(日)14時～ | エディオンスタジアム広島(広島市安佐南区) | 定160人(多数の場合は抽選) 料3,000円、高校生以下1,500円 開4月24日(金)(消印有効)までに往復はがきで参加者全員(5人まで)の①住所②名前③年齢④電話番号を広島広域都市圏協議会(〒730-8586住所不要)へ | 広島広域都市圏協議会 (☎082・504・2017) |
| 古澤 巖～品川カルテットコンサート2020in三原～ | 6月5日(金)15時～ | 芸術文化センターポポロ | 開古澤 巖(バイオリン)、福田 悠一郎(バイオリン)、高木慶太(チェロ)、TAIRIKU(ピアノ) 料5,500円 ※小学生から入場できます。 販売場所 ポポロ、RCCオンラインチケットほか | 芸術文化センター ポポロ (☎0848・81・0886) |

図書館 休館日 本郷・久井・大和図書館＝毎週火曜日、4月29日(水)
※中央図書館は新図書館への移転作業のため、7月(予定)まで閉館。

| イベント名 | と き | と ころ | 内 容 | 問い合わせ先 |
|------------------|--|------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 虹の会 絵本のよみかたり | 4月11日(土)・25日(土)14時～14時30分 | 中央公民館 | - | 中央図書館 (☎0848・62・3225) |
| 虹の会 0歳からのよみかたり | 4月15日(水)10時30分～11時、11時15分～11時45分 | | | |
| ねむの木 おはなしのひろば | 4月18日(土)・5月2日(土)10時30分～11時30分 | | | |
| 読書会 | 4月27日(月)13時30分～15時 | | 開課題本『オーロラを求めて』(星野道夫/著)を読み解く | |
| こんぺいとう おはなし会 | 4月23日(木)10時30分～11時 | 本郷図書館 | | 本郷図書館 (☎0848・85・0703) |
| ほんごう子ども図書館 おはなし会 | 4月7日(火)10時30分～11時、4月11日(土)・25日(土)14時～14時30分 | ほんごう子ども図書館 | | ほんごう子ども図書館 (☎0848・86・6066) |
| 久井図書館 おはなし会 | 4月25日(土)13時30分～14時 | 久井図書館 | | 久井図書館 (☎0847・32・7138) |
| 絵本とおはなしの時間 | 4月5日(日)14時～14時30分、4月11日(土)・18日(土)・25日(土)10時30分～11時 | 大和図書館 | | 大和図書館 (☎0847・33・1115) |

子育て世代包括支援センター すくすく

| イベント名 | と き | と ころ | 内 容 | 申し込み・問い合わせ先 |
|-----------|------------------------------|------------|--|-------------------------|
| 母乳相談・栄養相談 | 4月9日(木)10時～12時、13時～15時のうち1時間 | サン・シープラザ3階 | 開①産前・産後の乳房ケアの相談②栄養についての相談 開①出産前後の人②未就学児と保護者 定各4人(要申し込み) 開母子健康手帳 申込期限 4月8日(水)まで | すくすく (☎0848・67・6217) |
| 産後セルフケア教室 | 4月10日(金)10時～12時 | サン・シープラザ3階 | 開産後5カ月までの人 定5人(要申し込み) 開母子健康手帳 申込期限 4月9日(木)まで | |
| 育児相談 | 4月21日(火)10時～11時30分 | 紅梅認定こども園 | 開子どもの歯磨きについての講座、育児・栄養・歯科相談 開乳幼児と保護者(申し込み不要) 開母子健康手帳 | |

児童館 開館時間は10時～18時です。火曜日は休館日です。

| イベント名 | と き | と ころ | 内 容 | 申し込み・問い合わせ先 |
|----------------|--------------------------------------|----------|---|--|
| レッツ! Labo | 4月11日(土)10時30分～12時30分 | 市民福祉会館4階 | 開段ボール迷路作り 開小学生以上 定20人(要申し込み) | 児童館 (☎0848・67・1123) ※申し込みは4月5日(日)から。 |
| 親子ストレッチ | 4月15日(水)①10時～10時45分②11時～11時45分 | 児童館 | 開保護者と①0歳児②1～5歳児 定各20組(要申し込み) | |
| リトミックランド(音楽表現) | 4月17日(金)①10時30分～11時②11時15分～11時45分 | 児童館 | 開保護者と①1歳児②2～5歳児 定各15組(要申し込み) | |
| けん玉教室 | 4月18日(土)14時～16時 | 児童館 | 開17歳までの子と保護者(申し込み不要) ※未就学児は保護者同伴。 | |
| ママチャレンジ | 4月23日(木)①10時～10時45分②11時～11時45分 | 市民福祉会館2階 | 開多肉植物の寄せ植え作り 開17歳までの子の母親(要申し込み) ※託児有り。 定各7人(要申し込み) 料700円 | |
| 茶のこころ「さつき庵」 | 4月25日(土)①10時15分～10時50分②11時15分～11時50分 | 市民福祉会館4階 | 開お茶のお点前 開3歳児以上 定各14人(要申し込み) 料300円 開ハンカチ、白色の靴下、腰ひも(ベルトでも可) | |

生活情報 掲示板

献血に協力を

①12日(日)10時～12時、13時15分～16時
②25日(土)10時～11時30分、12時45分～15時30分

所 ①イオン三原店②マックスバリュ本郷店

④保健福祉課(☎0848・67・6053)

写真家・岡村徳男の作品を市ホームページで公開

市ホームページで写真家岡村徳男が撮影した昭和30年以降の三原市内を中心とした写真を毎月テーマを替えて公開します。

期間 来年3月まで

④文化課(☎0848・64・9234)

34)

かんきょうカレンダーの配布

令和2年度(4～9月)かんき

ようカレンダーをまだ受け取っていない人への配布は総合案内コーナー(市役所本庁1階)、各支所で行なっています。



※市HPにも掲載しています。

④環境施設課(☎0848・63・1210)

歴史民俗資料館の休館日を変更

今月から歴史民俗資料館の休館日を変更しました。

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

所 歴史民俗資料館、久井歴史民俗資料館

④文化課(☎0848・64・9234)

6日(月)～15日(水) 春の全国交通安全運動

あおるより ゆずるあなたが かつこいい(今年の広島県交通安全年間スローガン)

●重点的に取り組む事項

- 子どもをはじめとする歩行者の安全の確保
- 高齢運転者などの安全運転の励行
- 自転車の安全利用の推進

固定資産税・都市計画税(第1期)の納期限は30日(木)まで

納税通知書は今月初旬に発送します。

【縦覧帳簿の縦覧】評価額を比較することができます。
期 限 30日(木)まで

所 資産税課(市役所本庁2階)、各支所

用 運転免許証など本人確認ができる物

※法人の場合は、会社から窓口に来る人への委任状が必要です。

【所有資産の確認を】土地や家屋の内容に変更がある場合、不動産登記の申請が必要です。納税通知書に付いている土地・家屋課税明細書を確認してください。

【償却資産の実地調査に協力を】

対 市内の事業者(支店・営業所を含む)

内 資産台帳の提出や現物照合など

※申告誤りなどの場合、過年度にさかのぼり修正申告が必要です。

④資産税課(☎0848・67・6032)

④生活環境課(☎0848・67・6178)

国民年金の保険料

今年度の保険料は、月額1万6540円です。前払いや口座振替による割引制度を利用できます。

●学生の納付特例制度

申請により在学中の納付が猶予されます。

申請場所 市民課(市役所本庁1階)、各支所、三原年金事務所

用 年金手帳、印鑑、学生証または在学証明書

※申請は年度ごとに必要です。

今月、日本年金機構からはがき

が届いた人は、返送することで申請できます。

④市民課(☎0848・67・6051)

ペアシティ三原西館3・4階の空調機が使用できなくなります

空調設備工事に伴い、5月7日(木)からペアシティ三原西館3・4階の空調機が使用できなくなります。工事期間中(7月中旬までの予定)はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

④保健福祉課(☎0848・67・6234)

高齢者向け運動機器を リージョンプラザ南館に移設

今月3日(金)にサン・シープラザ3階の高齢者向け運動機器をリージョンプラザ南館のトレーニング室へ移設します。運動機器は有料で誰でも利用できます。利用方法など詳しくは市HPで確認するか、問い合わせてください。
☎高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

ガソリンを携行缶で購入するとき は運転免許証などの提示を

ガソリンを携行缶で購入するには、運転免許証など本人確認ができる書類の提示と、使用の目的を伝える必要があります。購入するときは注意してください。
☎消防本部予防課(☎0848・64・5927)

募集

若者支援スペース「だんだんの利用者

時 5月～来年3月(月2回)
所 受託業者の活動スペースなど
因 グループワークや個別相談
対 市内在住のひきこもりやニートなどの15～39歳

定 10人程度(要申し込み)
料 無料
※材料費など別途実費が必要です。

申 申込書(提出先、市HPに用意)を生涯学習課(☎0848・67・6147)へ

市民活動団体が行う 社会貢献事業

因 設立後5年以内で、応募要件を満たす市民活動団体
補 助 額 上限5万円(1団体につき2回まで)
※応募の手引き、申請書を地域企画課(市役所本庁4階)、各支所、市HPに用意。

申 30日(木)までに申請書などを地域企画課(☎0848・67・6184)または各支所へ

今年度を実施する市民 提案型協働事業の提案

地域課題の解決などのため、市民と市が協働で取り組む提案事業を募集します。採択されると、市が30万円を上限に経費の一部を負担し、協働で事業を実施します。
因 1年以上継続して活動し、今年度中に事業を実施する市民活動団体や住民組織
※応募の手引き、提案書、団体

概要書を地域企画課(市役所本庁4階)、各支所、市HPに用意。
申 30日(木)までに提案書などを地域企画課(☎0848・67・6184)へ

自衛官

区分 ①一般曹候補生②幹部候補生(一般、歯科、薬剤科)

対 ①18～32歳②(一般、薬剤科)20～27歳(歯科)20～29歳
※詳しくは自衛隊のHPを参照。

申 込 期 限 ①5月15日(金)②5月1日(金)まで

☎自衛隊尾道出張所(☎0848・22・6942)

第29回三原さつき祭り さつきパレードの参加団体

時 5月30日(土)13時30分、コース 宮浦中学校南交差点、芸術文化センターポポロ(約1.2km)
※申し込み方法など詳しくは専用HPを参照。

☎商工会議所(☎0848・62・6155)

2020三原ミスやっせ

資 次 ①～③全てを満たす人
①市内在住・在勤・在学の18歳以上(高校生は除く)

②観光アシスタントとして三原市をPRできる
③活動について勤務先の了承を得ることができる
副賞 海外旅行など
※推薦者にも推薦者賞を贈呈。



申 17日(金)までに三原やっせ祭りHPから

☎三原やっせ祭り実行委員会(☎0848・62・6155)

第31回トリアスロン さぎしま大会の出場者

時 8月30日(日)10時～14時
所 佐木島(鷺浦町)

内 ①個人の部Ⅱスイム1.5km、バイク42km、ラン10km②チームリレーの部Ⅱ3種目を3人でリレー

資 16歳以上で、トリアスロン出場実績または同等の力量がある人
※65歳以上の人は診断書が必要。

定 ①400人②40チーム

料 ①15000円

②36000円

申 5月10日(日)までに大会HPから



☎スポーツ振興課(☎0848・64・7219)

市民活動団体や住民組織、住民組織で構成された連合組織

市民活動団体や住民組織、住民組織で構成された連合組織、住民組織で構成された連合組織、住民組織で構成された連合組織

ウォーキングのまち三原 推進事業提案団体を募集

健康増進を目的に、ウォーキングイベントを実施する団体にウォーキングコースの整備・運営に必要な活動費を補助します。ウォーキングで三原のまちを元気にしましょう。

4月24日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

6月～12月の全6回
※いずれも9時30分～15時。
所本郷保健福祉センターなど
食生活を中心とした健康についての講義と調理実習

食生活改善推進員養成講座



子育て支援課(☎0848・67・6045)

【児童扶養手当(月額)】

| | 改定前 | 改定後 |
|------|----------------|----------------|
| 全部支給 | 42,910円 | 43,160円 |
| 一部支給 | 10,120～42,900円 | 10,180～43,150円 |

※2人目以降の加算額については市HPを参照。

【特別児童扶養手当(月額)】

| | 改定前 | 改定後 |
|--------|---------|---------|
| 手当等級1級 | 52,200円 | 52,500円 |
| 手当等級2級 | 34,770円 | 34,970円 |

全国消費者物価指数の変動により、4月分から表のとおり改定します。

児童扶養手当・特別児童扶養手当の額が変わります



5月8日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

連休の小児科 当番医院



| とき | ところ |
|-------------------------------------|---|
| 4月29日(水) 9時～12時、 14時～16時 | わきた小児科 (宮浦六丁目) (☎0848・67・7999) |
| 5月3日(日) 9時～11時30分、 13時～15時30分 | 三原赤十字病院 (東町二丁目) (☎0848・64・8111) |
| 4日(月) 9時～12時、 14時～16時30分 | 興生総合病院 (円一町二丁目) (☎0848・63・5500) |
| 5日(火)・ 6日(水) 8時30分～ 17時30分 | 三原市医師会 休日夜間急患診療所 (宮浦一丁目) (☎0848・67・7040) |

こんにちは

保健師です



赤ちゃんの泣く理由って何？

子育て世代包括支援センターすくすくには、出産や子育てに関する相談が年間約2千件寄せられています。最も多い相談は「赤ちゃんが泣きやまない」という相談です。

赤ちゃんは1歳を過ぎた頃から自我が芽生え、自分の思いが満たされないと大泣きをするようになります。泣き出しても慌てず、まずは赤ちゃんの気持ちを受け止めて優しく声を掛けてあげましょう。背中を軽くトントンしたり、散歩したりするのも効果的です。

いつもと泣き方が違うときは、体調が悪い場合もあります。不安に思うことがあれば、医療機関を受診しましょう。

泣く回数が多いと、保護者はイライラしたり、気分が落ち込みやすくなったりします。保護者自身も心身ともに健康で過ごすため、1人で悩んだり、自分を責めたりせず、すくすく(☎0848・67・6217)や地域の保健師に相談してください。

保健師 小林美和

くらしの無料相談窓口

相談日などを変更する場合があります。事前に確認してください。

| | 相談の種類 | と き | と ころ | 申し込み・問い合わせ先 | |
|-----------------|------------------|--|---------------------------------|---|---|
| 法律・生活 | 弁護士法律相談 | 17日(金)※要予約。申し込みは6日(月)8時30分から。 | 13時～16時 | 中央公民館 | 生活環境課 (☎0848・67・6179) |
| | | 8日(水)・22日(水)※いずれも要予約。利用には収入などの条件があります。 | 10時～16時 | 広島地方裁判所尾道支部(尾道市新浜) | 広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237) |
| | 司法書士相談 | 29日を除く月～金曜日 | 12時～15時 | 電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196) | |
| | 法的トラブルの解決法・窓口の案内 | 29日を除く月～金曜日 | 9時～17時 | 電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485) | |
| | 交通事故・民事・家事相談 | 29日を除く月～金曜日 | 9時～17時 | 電話相談 県生活センター(☎082・223・8811) | |
| | | | 9時15分～12時、13時～16時 | 電話相談 県東部地域県民相談室(☎084・931・5522) | |
| | 暴力団関係相談 | 29日を除く月～金曜日 | 9時30分～16時 | 電話相談 暴力追放広島県民会議(☎082・228・5050) | |
| | 消費生活相談 | 29日を除く月～金曜日 | 9時～12時、13時～16時 | 市役所本庁3階 ※電話相談も可。 | 消費生活センター (☎0848・67・6410) |
| | 消費生活巡回相談 | 10日(金)・17日(金)・24日(金) ※要予約。 | 14時～16時 | 本郷・久井・大和支所 | |
| | 自立サポート相談 | 29日を除く月～金曜日 | 8時30分～17時15分 | サン・シープラザ4階 | 自立相談支援センターみはら (☎0848・67・4568) |
| | 障害者なんでも相談 | 15日(水)※要予約。 | 14時～16時 | 本郷福祉センター | 障害者生活支援センター (☎0848・63・3319 ☎0848・63・3359) |
| | | 22日(水)※要予約。 | 10時～12時 | 久井保健福祉センター | |
| | | 5月1日(金)※要予約。 | | 大和保健福祉センター | |
| | 成年後見専門相談 | 9日(木)※要予約。 | 14時～16時 | サン・シープラザ3階 | |
| | 心配ごと相談 | 毎週金曜日 | 13時～16時 | サン・シープラザ4階 | 社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570) |
| | | 8日(水)・22日(水) | | 本郷福祉センター | (☎0848・86・3607) |
| | | 15日(水) | 9時～12時 | 久井保健福祉センター | (☎0847・32・7101) |
| | | 17日(金) | | 大和人権文化センター | (☎0847・33・1308) |
| | 不動産相談 | 4月17日(金)、5月1日(金) | 10時～15時 | サン・シープラザ4階 | |
| 戦没者遺族相談 | 16日(木) | 13時～16時 | サン・シープラザ4階 | 社会福祉協議会 (☎0848・63・0570) | |
| 行政相談 | 20日(月) | | | | |
| 教育子育て | 学校生活・勉強などの悩み相談 | 29日を除く月～金曜日 | 9時～17時 | リージョンプラザ2階 ※電話相談も可。 | 三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201) |
| | 学校生活の悩み・体罰などの相談 | 29日を除く月～金曜日 | 8時30分～17時15分 | 電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は留守番電話で対応。 | |
| | 療育・教育相談 | 6日(月)・27日(月) | 13時～16時 | サン・シープラザ4階 | 社会福祉協議会 (☎0848・63・0570) |
| | 児童虐待通告窓口 | 毎日 | 24時間 | 電話相談 保健福祉課(☎0848・67・6088) | |
| 健康 | アレルギー疾患相談 | 21日(火)※要予約。 | 13時30分～15時30分 | 県東部保健所(尾道市古浜町) | 県東部保健所 (☎0848・25・4641) |
| 人権 | 人権相談 | 9日(木) | 13時～16時 | サン・シープラザ4階 | 人権推進課 (☎0848・67・6044) |
| | | 29日を除く月～金曜日 | 10時～16時 | 市役所本庁3階 | (☎0848・66・1111) |
| | | | | 人権文化センター | (☎0848・86・3333) |
| | | | | 本郷人権文化センター | (☎0847・33・1308) |
| | | 8時30分～17時15分 | 電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110) | | |
| 女性の人権相談 | 29日を除く月～金曜日 | 8時30分～17時15分 | 電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810) | | |
| 子どもの人権相談 | | | 電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110) | | |
| 女性相談 | 29日を除く月～金曜日 | 9時30分～16時 | 市役所本庁2階 ※電話相談も可。 | 女性相談室 (☎0848・61・0122) | |
| 災害警戒・災害対策本部専用電話 | | | (☎0848・67・6868 ☎0848・67・6164) | | |

桜山を「桜」でいっぱいになりたい



NPO法人 うきしろ桜山会の皆さん

JR三原駅の北側に位置し、頂上からは市中心部が一望できる「桜山」。その名前に合う、桜のきれいな山にしようと思つた植樹や環境の整備に取り組んでいるのは「NPO法人うきしろ桜山会」の皆さんです。山の麓にある4つの町内会の皆さんを中心に総勢約160人のメンバーが活動しています。

「桜山は昔から地域の人々の生活に根付いている」と理事長の玉浦 巖さん。慣れ親しんだ山を自分の力できれいに整備しようと平成25年に会が設立されました。苦労しているのは桜の植樹場所を決めること。桜山は岩が多いため、植樹できる場所が限られます。岩を避け、他の木とのバランスを見ながらみんなでアイデアを出し合つて植える場所を決めています。立派な桜に育てるため、大切にしているのは「頻繁に世話をすること」。会員が一本一本に愛着を持つため、植樹する時には「結婚20周年」「2歳記念など好きな言葉を記したプレート」を付けています。世話をするために毎月1回は集まり、植えた木や周辺の手入れをします。



▲大きく育つことを願い、熱心に世話をしています

※このコーナーでは、まちをもっと元気にしようと頑張っている人や団体を紹介します。

平成30年7月豪雨の影響で岩や木が散乱し、桜が何本も倒れてしまいましたが、それでもくじけずに地道に復旧活動を続けました。その間は植樹をすることができていませんでしたが、今年2月に再開。30本の苗木と10本の成木を植えました。現在、山には約850本の桜の木が元気に育っています。恒例行事として、元旦には頂上で初日の出と桜の木の共演を楽しみ、春には花見を行なっています。「三原の人はもちろん、他のまちの人たちにも駅や新幹線の中から桜を見て喜んでもらえれば」と皆さん。桜山を桜でいっぱいに行きたいです。

※活動内容など詳しくは「NPO法人うきしろ桜山会」のフェイスブックを参照。

| | |
|-------------------------|-------------------|
| 三原市の人口 (2月29日現在) | |
| ※外国人住民を含む。 | |
| ※()内は前年同月との比較。 | |
| 世帯数 | 43,707 世帯 (+22) |
| 人口 | 92,988 人 (-1,146) |
| 男 | 44,739 人 (-419) |
| 女 | 48,249 人 (-727) |
| 人口移動の詳細については | |
| 広島県 人口移動 月報 で 検索 | |

| | |
|------------------------------|----------|
| 税などの納期 (普通徴収) | |
| ○固定資産税・都市計画税 (第1期) | |
| 納期限 | 30日(木)まで |
| 夜間収納・証明書交付業務の窓口(19時まで) | |
| 毎週木曜日 | |
| 航空機の騒音測定結果(2月分)(Lden) | |
| ▶正広局(本郷町善入寺正広) | =51.6 |
| ▶本郷局(本郷町船木川西上) | =53.5 |

市ホームページをリニューアルしました

先月24日に市ホームページをリニューアルしました。スマートフォンやタブレットなどでも見やすく使いやすいページとなるようデザインを刷新しました。



▲トップページのイメージ

- 特長**
- ①スマートフォンやタブレットなどでの見やすさ使いやすさを向上させました
 - ②市メール配信システムと連携することで災害情報の発信力を強化しました
 - ③閲覧数が多かったコンテンツをトップページに表示するなど、欲しい情報にたどり着きやすくなるよう工夫しました
- ☎広報戦略課(☎0848-67-6007)

あ・と・が・き 巻頭特集の取材で名誉市民の池田敬子さんにインタビューした時のこと。「五輪のような大舞台でも緊張しない秘訣は」という質問に「人と競争しようと思つたら緊張する。自分との勝負だと思つてやるのが大切」と答えてくださいました。他人と比べて、落ち込んだり、焦つたりしがちな私。これまで自分自身と向き合う機会は少なかつたかもしれませんが、今月は新年度スタートの月。「今までの自分に勝つ」を目標に、飛躍できるように頑張ります。池田先生ありがとうございました(F)